

平成27年度供給計画の概要

平成27年度供給計画につきましては、泊発電所の発電再開時期が不透明であることから、前回計画に引き続き、供給力を「未定」としています。

1. 電力需要の見通し

- 2015年度の販売電力量は、定着した節電の影響が見込まれますが、2014年度に自家発電の稼働増により需要を抑制いただいた影響の反動などにより、対前年伸び率1.5%（気象^{*}・うるう年補正後1.5%）の305億kWhと想定しています。

※気象補正：電力需要は、気温などの気象の影響を受けるため、気象条件を平年ベースに換算し、販売電力量または最大電力を求めること。

- 中長期的には、人口減少や省エネルギー・定着した節電の影響が見込まれるものの、業務用・産業用需要の増加などにより、販売電力量は、2013～2024年度の年平均伸び率0.6%（気象^{*}・うるう年補正後）を想定しています。
- 2015年度の最大電力は、対前年伸び率0.9%（気象補正後2.2%）の511万kW（送電端最大3日平均電力）と想定しています。中長期的には、販売電力量と同程度の伸び（2013～2024年度の年平均伸び率0.7%（気象補正後））を想定しています。

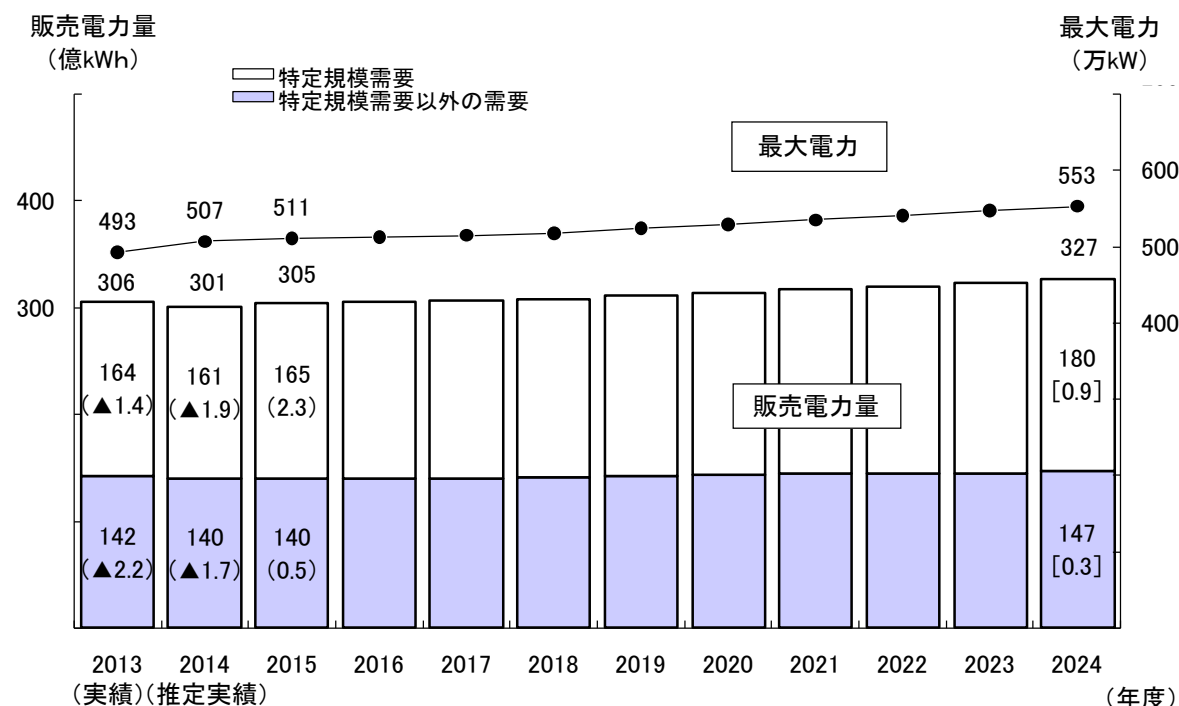
電力需要想定

項目 \ 年度	2013 実績	2014 推定実績	2015	2016	2017	2018	2019	2024	2013～2024 年平均伸び率 (%)
販売電力量 (億kWh)	306 (305)	301 (300)	305 (304)	306	307	308	311	327	0.6 (0.6)
同上対前年 伸び率(%)	▲1.8 (▲1.2)	▲1.8 (▲1.8)	1.5 (1.5)	0.4 (0.7)	0.2	0.2	1.0	1.0	—
最大電力 (万kW)	493 (512) [540]	507 (500) [534]	511	513	515	517	524	553	1.1 (0.7)
同上対前年 伸び率(%)	▲6.1 (0.2)	2.8 (▲2.2)	0.9 (2.2)	0.4	0.4	0.4	1.4	1.1	—

- (注) 1. 販売電力量の2014年度推定実績は、4～12月は実績、1～3月は推定によるもの。
2. ()内は気象・うるう年補正後。
3. 最大電力は12月の送電端最大3日平均電力。
4. 2013、2014年度の[]内は、発電端1日最大値。

(2013年度は1月、2014年度は12月に発生)

電力需要の実績と想定



- (注) 1. 最大電力は12月の送電端最大3日平均電力。
2. 特定規模需要以外の需要とは、一般家庭などの需要。また、特定規模需要は、高圧以上で電力を供給している事務所、商業施設、工場などの需要。
3. ()は、対前年伸び率。なお、2024年度の[]内は、2013年度から2024年度に至る平均伸び率（気象・うるう年補正後）。

2. 設備計画

【電源開発計画】

- ・2015年度における電源開発計画は、下表のとおりです。
- ・既設火力発電所の経年化に対応するとともに、燃料種の多様化を図り、将来的な電力の安定供給を確実なものとするため、石狩湾新港発電所（LNG火力：総出力170.82万kW）を導入いたします。1号機（56.94万kW）は2019年2月に運転を開始する予定です。
- ・負荷追従性や周波数調整能力に優れた純揚水の京極発電所の2号機は、2015年11月に運転を開始する予定です。（1号機（20万kW）は2014年10月1日営業運転開始）
- ・緊急時を中心にピーク供給力として活用してきた音別発電所は、京極発電所による代替が可能となることから、2015年12月に廃止する予定としていましたが、泊発電所の運転再開時期が不透明であることを踏まえ、当面の供給力確保の観点から廃止時期を未定に変更しました。具体的な廃止時期は、泊発電所の再稼働状況を踏まえ検討してまいります。

電源開発計画

	発電所	出力(万kW)	着工 ^{※1}	運転開始/廃止
工事中	京極(水力)	60.0 (20.0×3台)	2001-9	2015-11(2号機) 2025年度以降(3号機)
	新岩松(水力)	1.6	2013-7	2016-1
	焼尻6号(内燃力)	0.024	2015-2	2015-7
着工準備中	石狩湾新港(LNG火力) 1号機	170.82 (56.94)	2015-9	2019-2
	2号機	(56.94)	2018-11	2021-12
	3号機	(56.94)	2025-11	2028-12
	沓形10号(内燃力)	0.075	2016-2	2016-7
廃止その他	岩松(水力)	▲1.26	—	2015-5(廃止)
	音別(石油火力)	▲14.8 (▲7.4×2台)	—	未定(廃止)
	焼尻2号 } (内燃力) 沓形4号 }	▲0.024 ▲0.075	—	2015-4(廃止) 2016-4(廃止)

※1 電気事業法第48条に基づく届出年月。

【流通設備整備計画】

- ・2015年度における主な送電線路および変電所の整備計画は、下表のとおりです。
- ・北海道エリアの安定供給を確保する観点から、北海道本州間連系設備の30万kW増強を進めてまいります。当初の計画どおり2019年3月に運転を開始する予定です。

主要送電線路整備計画

区分	送電線路名	区間	電圧(kV)	こう長(km)	回線数	工期	
						着工 ^{※1}	運転開始
工事中	南九条線	円山西町CHS ～南九条SS	187	4	2	2014-3	2015-10
	北斗今別直流幹線	北斗変換所 ～今別変換所	250	122	単極1	2014-4	2019-3
着工準備中	石狩火力幹線	西当別SS ～石狩湾新港PS	275	21	2	2015-4	2018-2
	道南幹線	西双葉開閉所 ～北斗変換所	275	0.3	2	2016-5	2017-10
	北斗幹線	北斗変換所 ～大野変電所	275	0.6	2	2016-5	2017-10

※1 電気事業法第48条に基づく届出年月。

主要変電所整備計画

区分	変電所名	増加出力(MVA)	変圧器			その他の設備	工期	
			電圧(kV)	容量(MVA)	台数		着工 ^{※1}	運転開始
工事中	北斗変換所	300MW	—	—	—	交直変換設備 300MW	2015-3	2019-3
着工準備中	北新得変電所	450	275/187	450/450	1	—	2016-2	2016-11
	宇内別変電所	25	187/66	100/100	1	—	2016-2	2016-11
	宇内別変電所	25	187/66	100/100	1	—	2018-2	2018-11
	今別変換所	300MW	—	—	—	交直変換設備 300MW	2016-3	2019-3
	南早来変電所	200	187/66	200/200	1	—	2019-2	2019-10

※1 電気事業法第48条に基づく届出年月。

以上